



満蒙開拓青少年義勇軍
満州に送り出された子どもたち



昭和21年3月、上伊那教育
会は義勇軍の救援活動を開始
しました。まず、各中学校・町村
長に①家庭保護の留意②町村
父兄会の開催③家庭訪問④嘆
願書の提出—を要請しました。

3月から、GHQマッカー
サー元帥宛・中華民国代表宛
・ソ連代表宛の「在満朝鮮同胞救
出児童救援に関する嘆願書」
署名を呼びかけ、上伊那全域
から集まった嘆願書は、およ
そ5万通に達しました。

5月、義勇軍や開拓団の満
州・朝鮮からの引揚げが始ま
りました。それを契機に、6
月、「義勇軍弔慰金並援護資金
募集」活動に取り組みました。
趣意書には、「教育会に於きま
しては、これが(義勇軍の)送

戦後、上伊那教育会は 義勇軍救援のために 何をしたか

8

出の任に当たりました関係よ
り、この現状(多くの犠牲者を
して届けました。



伊那公園にある「少年の塔」

昭和36年に「少年の塔」除幕

帰還者の再就職斡旋「満蒙開
拓青少年義勇軍並びに学徒隊
遺族援護に関する諸願書」
を衆参両院議長と厚生大臣宛
に提出するなど、義勇軍救援
活動に努めました。

そして、36年4月18日、「少
年の塔」除幕式が行われまし
た。「少年の塔」は、上伊那教育
会・上伊那市町村会・義勇軍
遺族会の三者協働で建設に取
り組み、上伊那郡内から募っ
た寄付金を基に、伊那公園に
建立されました。毎年秋、伊
那公園「少年の塔」前にて、
上伊那教育会主催「平和教育
研修会・少年の塔慰霊祭」が
実施されています。教育会員
による草刈りなどの整潔作業
も行われています。

また、54年には、上伊那教
育会単独で「日中友好視察
団」を編成し、旧満州の現地
において義勇軍の慰霊祭など
を実施しました。

(元上伊那教育会長・矢澤静
二)

7月23日(11月30日の4カ
月間、「青少年義勇軍引揚生
徒辰野駅前出迎え勤務」を実
施しました。上伊那教育会の
教職員が、毎日24時間体制
で、辰野駅前で義勇軍帰還生
徒などを出迎えました。西春
近村以北の飯田線沿いの国民
学校が昼間勤務(午前7時～
午後7時)を、辰野駅を地元
とする3国民学校が夜間勤務
(午後6時30分～翌朝7時)
を務めました。

その他、「義勇軍帰還者の
引揚げ状況の聴取と記録」義
勇隊善後処置委員会を設置
し、帰還者の厚生事業と戦病
没者遺族慰問を実施「義勇軍

義勇軍生徒辰野駅前出迎え勤務
計画表 (上伊那教育会所蔵)

勤務区間	勤務時間	勤務人員	備考
国民学校(西春近村以北)	午前7時～午後7時	上伊那教育会教職員	
辰野駅前	午後7時～翌朝7時	3国民学校	